

緊急連絡網・安否確認システム に関するアンケート調査

公益社団法人 秋田県診療放射線技師会

調査企画委員会

学術委員会（医療画像情報研修会担当委員）

背景

- ・近年,日本各地で豪雨による甚大な被害が相次いで発生し,その頻度と激甚化が進んでいる.
- ・秋田県内においても毎年のように豪雨・暴風雨による激甚災害が発生している.
- ・医療機関の災害対策において,夜間休日帯の職員の緊急連絡網・安否確認システムの体制整備は診療を継続する上で重要となっている.

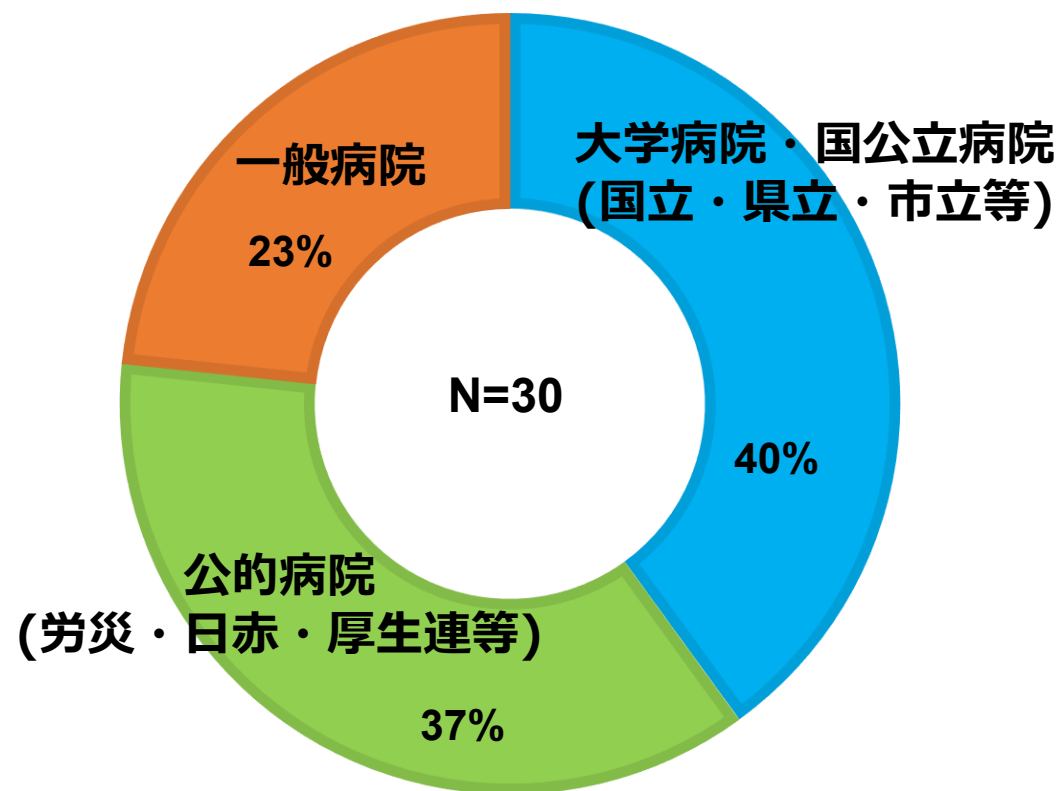
目的

県内施設の緊急事態への対応を調査,公表することで,各施設における体制の強化・見直しに繋がることを目的に秋田県内各施設を対象にしたアンケート調査を行った.

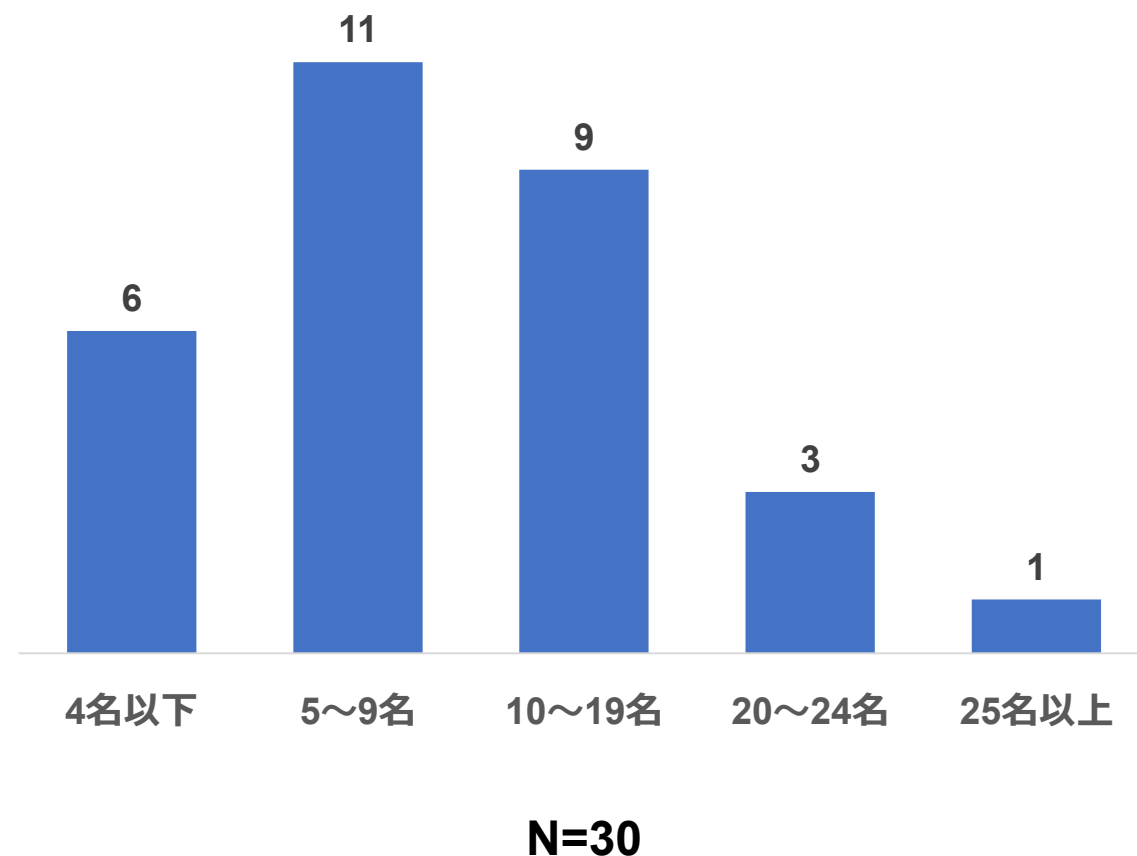
アンケート方法

- 記入方法 : Googleフォーム
- 配布方法 : 秋田県診療放射線技師会会員メーリングリスト
及び施設メーリングリスト
- 設問数 : 10
- 回答期間 : 令和7年6月2日～7月31日
- 回答対象者 : 1施設につき1回答（重複回答は同一施設内の最初の
回答を反映）
- 回答数 : 36（うち重複回答 6）

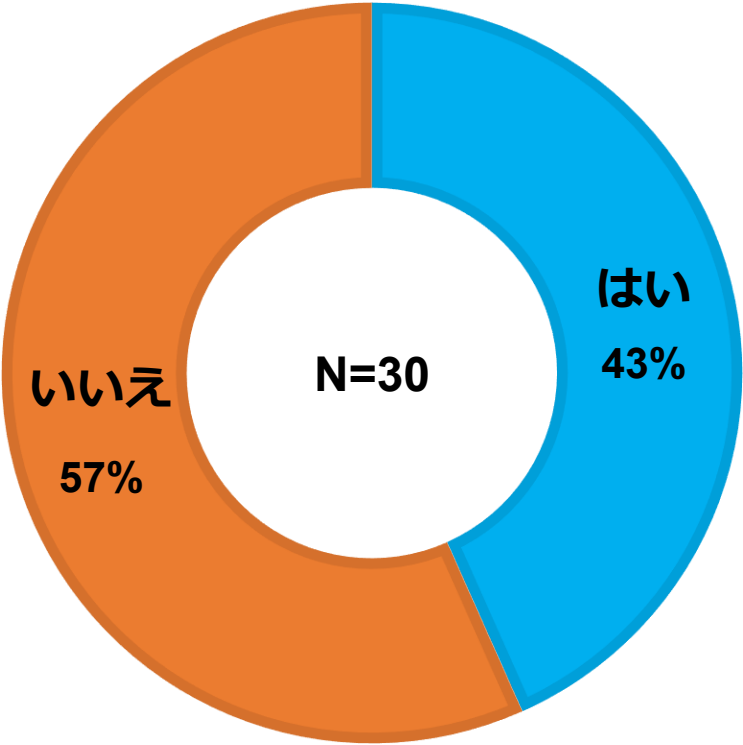
Q1.ご施設の病院区分を選択してください。



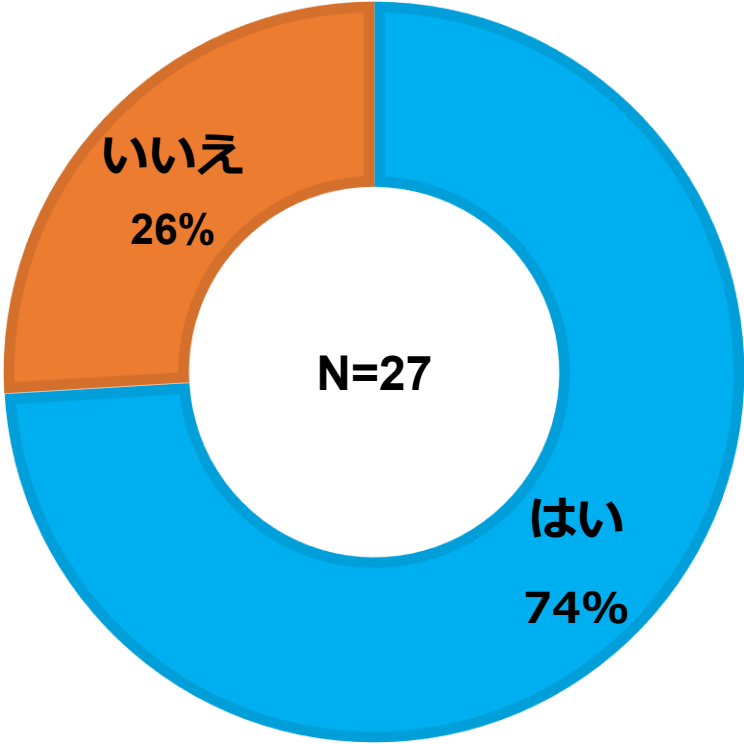
Q2.ご施設の診療放射線技師（非常勤を含む）の延べ人数を選択してください。



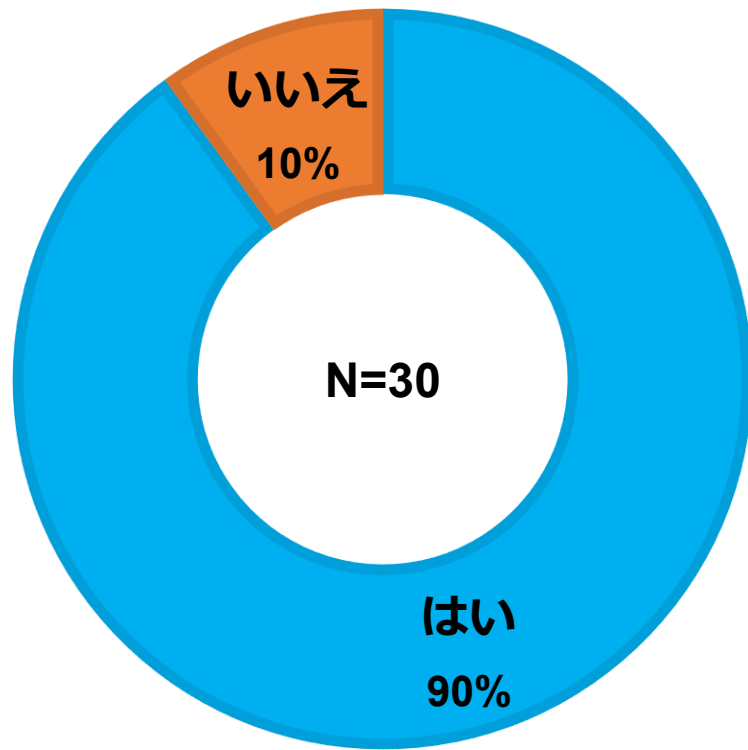
Q3.ご施設は災害拠点病院に指定されていますか？



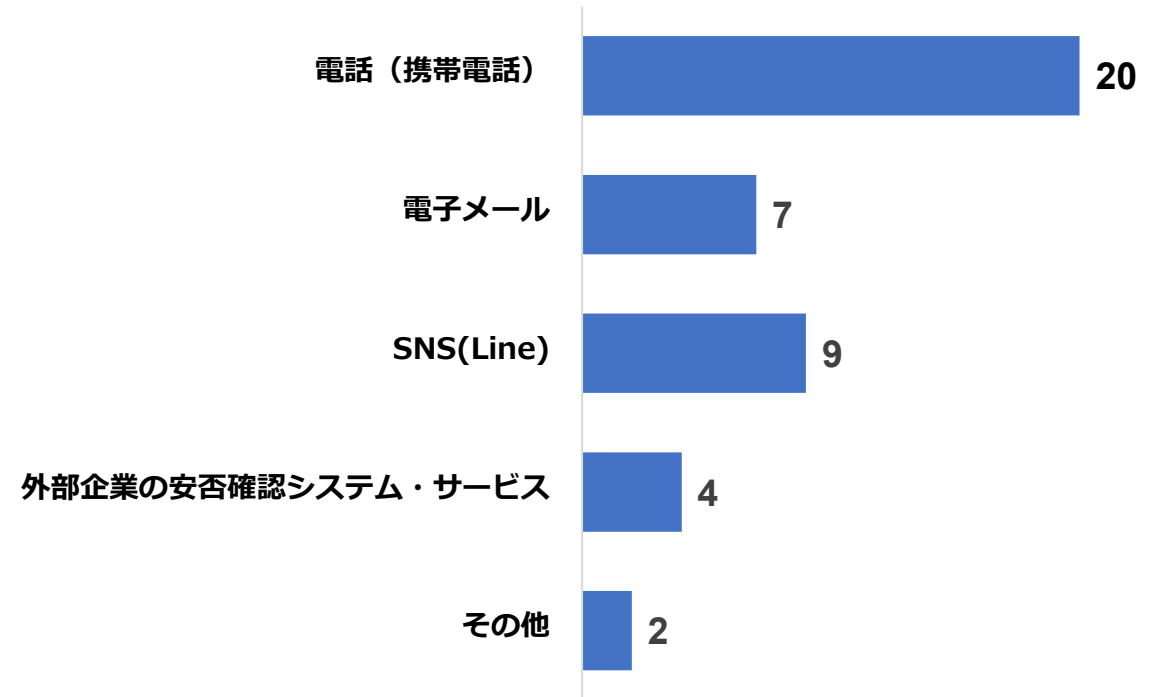
Q4.ご施設のBCP（事業継続計画）において職員の安否確認は策定されていますか？



Q5.ご施設又はご所属部門で緊急時・災害発生時の緊急連絡網・安否確認システムを準備されていますか？

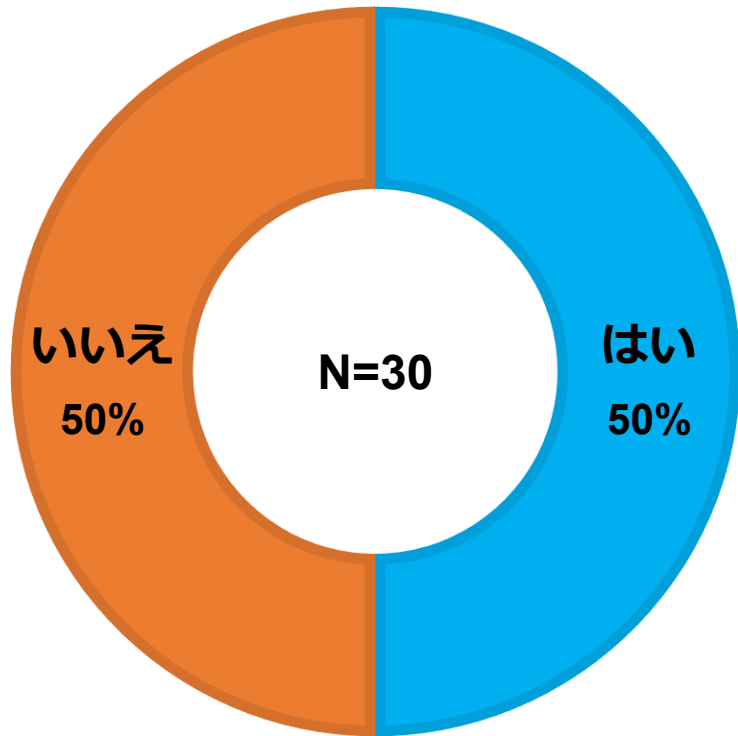


Q6.緊急時・災害発生時の緊急連絡網・安否確認システムは何を使用されていますか？
(複数回答可)

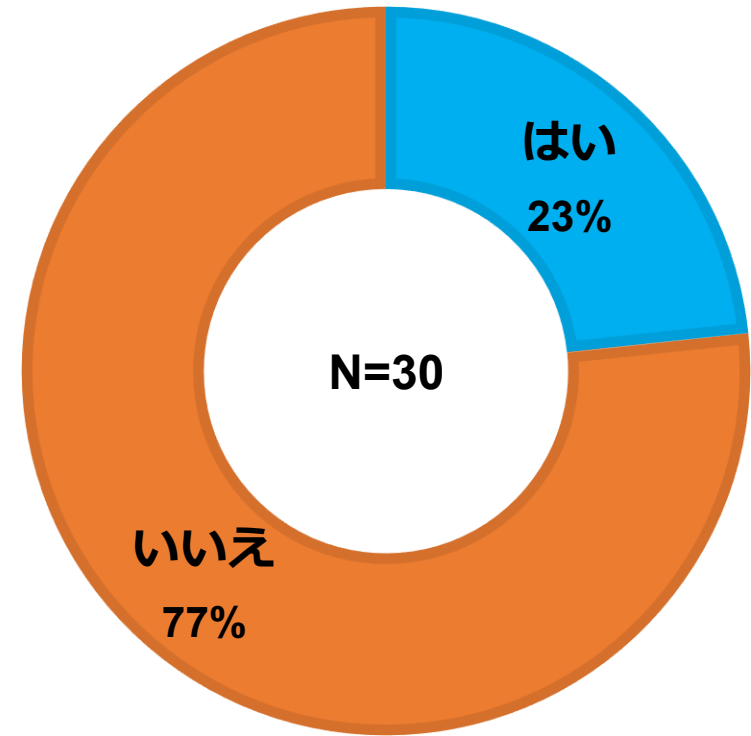


その他：Slack, Teams

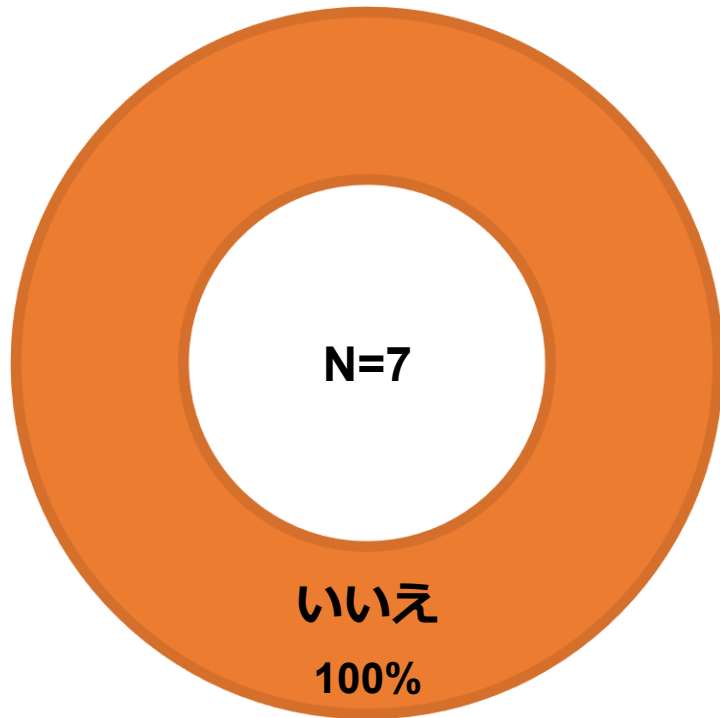
Q7.定期的に緊急連絡網・安否確認システムが
使用できるか訓練を行っていますか？



Q8.災害時にご所属部門で緊急連絡網・安否
確認システムを使用した経験はありますか？



Q9.緊急連絡網・安否確認システムを使用時に
不具合・トラブルの経験はありますか？



Q10.こういった不具合・トラブルが発生
しましたか？

・ Q9で「はい」の回答数が0のため
回答無し

まとめ

- 各施設の緊急連絡網・安否確認システムについてアンケート調査を行った。
- 施設のBCP（事業継続計画）において74%の施設が職員の安否確認が策定されていた。
- 緊急時・災害時の緊急連絡網・安否確認システムは90%の施設で準備がされていた。
- 緊急連絡網・安否確認システムには電話（携帯電話）が多く使用され、電子メールやSNS(Line)も使用している施設もあった。外部のシステムを使用していたり、コミュニケーションツールであるSlackやTeamsを使用している施設もあった。
- 県内においても豪雨被害などが記憶に新しい。今後も災害が起こりうることを想定して、システムの準備や適切に使用できるかの訓練を行うことが必要であると思われる。

謝辞

今回のアンケート調査にご協力いただいた県内施設、
診療放射線技師の皆様にご心より感謝を申し上げます。